

# 平成 25 年度 第 1 回修習セミナー報告

中国本部 修習技術者支援委員会

委員 高木 周一

広島県 上下水道／環境部門



平成 25 年 4 月 13 日（土）に第 3 ウエノヤビル 8 階会議室において、平成 25 年度の第 1 回修習セミナーを開催し、39 名の方にご参加いただきました。

今回のセミナーでは、平成 24 年度の技術士二次試験合格者による修習体験パネルディスカッションと修習技術者による業務発表（発表 20 分、質疑 20 分）を行いました。

開会にあたり、亀田委員長の挨拶では、受験生が最も気になっている試験制度の変更点についての説明がありました。



## 1. 修習体験パネルディスカッション

コーディネーター 金高智之 氏（建設）

パネラー 赤木真也 氏（建設）

窪田健一 氏（電気電子）

岡 正臣 氏（建設）

田中 健 氏（建設）

修習体験パネルディスカッションでは、はじめに、パネラーの方に受験体験を振り返っていただきました。その中で、勉強時間の作り方や勉強方法の紹介、受験の中で苦勞したこと、技術士として取り組んでいきたいことなどについて、熱く語っていただきました。

### ■赤木氏の発表

赤木さんは、出勤前の早朝に勉強時間を確保されていたようで、朝学習のメリットとして、家が静かで集中できることと晩酌を我慢しなくていいということをおっしゃっていました。

確かにお酒好きの私の場合は、勉強のためにお酒を我慢するストレスで集中できないことがよくあります。軽く晩酌して早起きすれば良いということによろやく気が付きました（苦笑）。

### ■窪田氏の発表

窪田さんは、学習環境の作り方がとても印象に残りました。疲れていると勉強はできないが、仕事なら疲れていてもできる。だから、仕事で疲れて帰ると早く就寝し、出勤前に早起きして勉強されたそうです。これも納得です。また、技術士会の様々なセミナーに参加して他の技術者と技術談義をすることで、モチベーションを維持したそうです。24 年度は 12 回のセミナーに参加されていました。岡山から新幹線に乗って参加されたそうで、頭が下がります。

### ■岡氏の発表

岡さんは、最初に発表した赤木さんの職場の先輩であり、後輩に負けられないという思いが大きなモチベーションになったそうです。

余談ですが、私は青年技術士交流委員長を務めていますが、岡さんは青年イベントへの出席率がダントツで高いこともあり、密かに一番応援していました。合格の報告を聞いたときは自分のことのように嬉しかったです。

### ■田中氏の発表

田中さんは、今回の発表者の中で唯一口頭試験の不合格を味わわれています。合格への思いが強ければ強いほど、勉強量が膨大に増えていくと思いますが、田中さんは不合格で家族に迷惑をかけたという思いをモチベーションにして、平日 5～6 時間、休日は 10～18

時間も勉強されたようで、軽い衝撃を受けました。



【パネラーの4名】

次に、コーディネーターの金高氏の進行で、合格するためにどのくらい勉強が必要なのかということディスカッションしていきました。会場の受験生に聞くと、概ね平日 2～3 時間、休日 4～5 時間という勉強時間でした。一方、パネラーの皆さんは、平日 4～5 時間、休日 8～9 時間ということでした。会場にいた受験生の皆さんは 8 月の試験に向けて、益々やる気になったのではないのでしょうか。



【コーディネーターの金高氏】

ディスカッションの中で印象に残ったことを紹介します。

赤木さん、岡さん、田中さんの3人は受験生同士のグループ学習をされていました。各自が作成した論文を受験仲間にメールし、添削したり、内容について議論したりされていたようです。グループ学習では、最後までメールのやり取りを多かった人が合格しているそうです。また、窪田さんに関しては、自分から積極的に外へ出て、技術者と交流することでモチベーションを維持されていました。このような話を聞くと、やはり一人で勉強するには、モチベーションの維持に限界がある

ということを感じました。本セミナーを受験生同士の交流や技術士への悩み相談の場として活用していただければ幸いです。

## 2. 修習技術者による事例発表

今回のセミナーでは、久しぶりに修習技術者による事例発表を行いました。

### 発表1：ガラス瓶残渣回収設備の設計

今東 典仁 氏（機械部門）

今東さんには、ガラス瓶リサイクルラインの既存設備を改造し、残渣回収工程を改善するための設計事例について発表していただきました。



### 発表2：ステンレススチールベルトの

#### 研削加工における板厚精度の向上

立山 隆志 氏（機械部門）

立山さんには、板厚分布に応じて加工条件を調整する加工法の事例について発表していただきました。



修習技術者による事例発表は、技術士二次試験に向けて、技術的体験の整理や口頭試験の練習になるので、多くの人に経験してもらいたいと考えています。修習事例発表をした人は、その年の二次試験で合格するという『技術士会の都市伝説』があります。私も発表した年に合格しました。合格したい方は、まずは事例発表の準備をお願いします。ご参加いただいた皆様、お疲れさまでした。